

OB会報

湘南サッカー部OB会

第9号

先輩とのかかわり

小泉 親 昂 (39回)

私が、湘南高サッカー部に入部したのは、今から約三十年前であるが、その当時は、まだまだサッカーはマイナーのスポーツであった。

入部のきっかけは、実は、小学校の担任であった原田さん(二十四回)が、サッカー部の先輩であったことに起因する。

中学校にサッカー部はなかったが、「湘南へ入ったらサッカーをやるのがあたりまえだ」といわれ続けていたので、まったくの素人として、入部することになった。

入ってみると、丁度前年に関東大会準優勝したメンバーがほとんど抜けて、三年生が三人、二年生が八人、という構成で、その年は関東大会予選で早々と敗退してしまった。

部長も宮原先生から鈴木先生へ五月に変わるといふことで、一から出直しをせまられていた。

私たち素人の一年生は、まだまだともにボールを蹴ることもできないのに、夏合宿で、岩渕大先輩をはじめ、その年の卒業生が、連日のように相手をしてもらい、また鈴木先生の指導よろしきを得て、その年、国体(当時は単独校方式)と全国選手権に出場することが出来た。

全国選手権出場は、戦後初ということもあって、多くの大先輩の激励を受けて出発したが、その時に、湘南サッカー部の伝統と先輩達の活躍をくわしく知り、また当時、金を集めるのに地元の先輩のお宅をたずね、寄附をもらってきたことを覚えている。

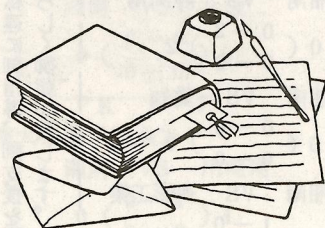
さて、そのようなきっかけで、多くの先輩達を知り、丁度東京オリンピックでサッカーがベストエイトに残り、少し注目されかけてきた昭和四十年頃、鎌倉の安保さん、服部さん、内田さん(すべて十五回)桑田さん(二十二回)などにきそわれて、鎌倉でもサッカー友の会をつくりボールを蹴る場をつくることになった。

それと同時に、当時大学生であった私は、「お前は、少年サッカーの普及をしろ」といわれ、鎌倉、藤沢の教育委員会の後援もあって、各小学校で、ボールの蹴り方の初歩から、指導を始めることになった。

以来、二十数年、今ではどこでも少年サッカーが盛んであるが、鎌倉、藤沢の少年サッカーの技術面での指導を最初に担当し、これまで隆盛になったことは、大変ほこりに思っている。

その後、十年ほど審判を含めてサッカーに熱中していたが、仕事柄、なかなかグラウンドに出る機会が少なくなり、たまたまOBのチーム(現在のベガサス)で、プレーしていたが、最近、神奈川県四十雀リーグの鎌倉チームでプレーをしている。

諸先輩もこのリーグでプレーをしている人が多く、よくグラウンドで会うことは楽しいことである。



湘南ペガサス2年度の活動

田川 明 (27回)

創立以来一四年を迎えた当クラブは、今年も多くのゲームをこなしました。

例年春の出足は良いチームです。今年も春先に一敗後、八連勝と好調で念願のリーグ初優勝かと思われましたが、今まで負けた事の無い川崎に一敗後、調子を崩し昨年同様第三位に終わりました。

さて、平成三年に、満一五周年を迎える当クラブが、今後更に発展する為には一にメンバーの若返えりにあります。

創立以来の最古参メンバーは既に60才に近く、ラフプレーで退場者も出る様な試合もある最近のリーグ戦では、悲しいことですが戦力になりません。平成三年度に40才を迎える45回生迄参加資格があります。当クラブリーグ初優勝を若手に飾らせ度いと、強く念願致します。

当クラブは、そもそも楽しいサッカーをするチームとして発足したものです。勝つサッカーを卒業した諸兄も歓迎します。3年度にはシニアのチームを作る計画もあります。多数参加を希望します。

◎事務局

T 二三三

横浜市港南区日野町

六二〇〇一五三

小杉 博 孝 (39)

TEL 〇四五―八九三一―一四六

試合結果

2/2	一〇	鎌倉	
2/4	〇―三	筑波大附属定期戦	●
2/4	一―七	JAL定期戦	○
2/4	一―二	綾瀬リーグ戦	○
2/6	一―七	川崎練習試合	○
2/6	一―六	横須賀リーグ戦	○
2/7	〇―五	相模原リーグ戦	○
2/7	一―四	川崎練習試合	○
2/7	二―三	藤沢リーグ戦	○
2/9	五―一	川崎リーグ戦	○
2/9	二―三	寒川リーグ戦	○
2/10	〇―八	鎌倉リーグ戦	○
2/11	四―〇	横浜リーグ戦	●
2/12	三―〇	神奈川リーグ戦	●
平成元年	一〇	勝四負	七割一分
昭和63年	八	勝四負二分	六割六分

現役報告

主将 石井博之

OBの方々にはいつも何かと多大な御支援をいただきまして誠に有難うございます。

さて、全国大会出場という最大の目標を持って日夜練習に励んできた私達ですが、新人戦ベスト32、関東大会予選ベスト32、そして目指す選手権は一回戦敗退という何とも不本意な結果に終わってしまったことが本当に悔まれます。同時にOBの方々の意にそえなかつたことを残念に思っております。

一昨年の全国大会を経験しているだけに、この一年間はいつそう辛いものではありましたが、私達が引退した今は後輩たちが私達の果たせなかつた目標を果たしてくれることを願っております。今後とも私達に御指導、御支援を賜りますようよろしく御願致します。

1990年 対戦成績

1/14	一回戦	湘南 VS 相洋	0-0
		延長	1-0
1/15	二回戦	湘南 VS 荏田	0-1
			0-3
＜湘南地区大会＞			
2/12		湘南 VS 西浜	0-0
			0-2
＜フレンドリーマッチ＞			
3/27		湘南 VS 静岡学園	0-1
			0-2
		湘南 VS 川島	1-1
			0-0
3/28		湘南 VS 東京学園	0-0
			1-0

3/28	湘南 VS 交野F.C.	0-0
		1-0
3/29	湘南 VS 静岡南	0-2
		0-0
	湘南 VS 愛知	0-0
		0-0
3/30	湘南 VS 御影工業	1-0
		0-1

♣ 試 合 結 果 ♣

<フレンドリーマッチ>

3/30 湘南 VS 天理
1 (0-0) 0
1 (1-0) 0

<筑波戦>

4/1 湘南 VS 筑波
0 (0-0) 0
0 (0-0) 0

<関東大会>

4/8 一回戦 湘南 VS 海老名
1 (1-0) 0
1 (0-0) 0

4/15 二回戦 湘南 VS 県相模原
2 (2-1) 5
2 (0-4) 5

<インターハイ予選>

5/3 一回戦 湘南 VS 相模原工技
7 (3-0) 0
7 (4-0) 0

5/6 二回戦 湘南 VS 鎌倉学園
1 (1-1) 3
1 (0-2) 3

<浦高戦>

5/9 湘南 VS 浦和
1 (0-0) 0
1 (1-0) 0

<研修大会>

7/25 湘南 VS 静岡西
1 (0-0) 0
1 (1-0) 0

7/25 湘南 VS 市原緑
0 (0-1) 4
0 (0-3) 4

7/26 湘南 VS 稲毛
1 (0-0) 2
1 (1-2) 2

7/26 湘南 VS 千葉明德
0 (0-1) 3
0 (0-2) 3

<練習試合>

7/29 湘南 VS 北陵
0 (0-0) 0
0 (0-0) 0
PK 6-7

<選手権大会県予選会>

8/7 湘南 VS 川崎南
0 (0-1) 1
0 (0-0) 1

<練習試合>

8/20 湘南 VS 大清水
1 (0-1) 3
1 (1-2) 3

<市民大会>

8/23 湘南 VS 湘南工科
1 (0-0) 0
1 (1-0) 0

8/24 湘南 VS 藤沢商業
0 (0-0) 0
0 (0-0) 0
PK 6-7

<練習試合>

9/15 湘南 VS 光陵
1 (1-0) 0
1 (0-0) 0

9/18 湘南 VS 長後
1 (0-0) 1
1 (1-1) 1

9/20 湘南 VS 日産F.C.コース
0 (0-0) 2
0 (0-2) 2

10/7 湘南 VS 藤沢北
1 (1-0) 1
1 (0-1) 1

<新人戦 湘南地区大会>

10/14 湘南 VS 深沢
2 (2-0) 0
2 (0-0) 0

11/3 湘南 VS 大清水
2 (2-1) 1
2 (0-0) 1

11/18 湘南 VS 長後
2 (0-1) 1
2 (2-0) 1



☆☆ 蹴球祭のお知らせ ☆☆

《 お 願 い 》

日 時 平成3年1月15日(祝)
11:00~14:30

場 所 湘南高校 大教室、及びグラウンド

内 容

- 1部 11:00~12:00 総会
(大教室)
- 2部 12:30~14:30 ゲーム
(グラウンド)

- ① 慶応OB50才以上戦
② 同 40才以上戦
③ OB紅白戦

更衣は、中会議室を御利用下さい。
シャワーは第1体育館にあります。
また、総会では昼食を、グラウンドでは
豚汁を用意させていただきます。

○平成3年分会費納入について
記念誌(Ⅱ)に対しまして、多くの寄附を
お寄せいただきありがとうございました。
一部には平成2年分会費も二度振り込まれ
た方もあり「広く会費の徴集を」という総
会の意を進めることなく、ここに3年分会
費の納入についてお願いする次第です。

- 総会当日徴集
○総会欠席者は、同封の郵便振り込みにてお
願います。
○銀行口座としては、以下の通りです。

横浜銀行 本店 普通預金
口座番号 019166
湘南OB会 安保隆文

XXXX平成2年 会 計 報 告XXXX

(2年1月1日~2年12月31日)

収入	会 費 ・ 寄 附	1,095,000
	利 子	1,970
	計	1,096,970

支出	現 役 寄 附	400,000
	蹴 球 祭	120,000
	遠 征 (OB費)	60,000
	印 刷 費	85,000
	郵 送 費	36,000
	事 務 費	38,000
	計	739,000
	会報発送(予算)	140,000
	計	879,000
通帳残	横浜銀行	13,162
	郵便局	204,808
	計	1,096,970

